



### 【製品概要】

TSKはシース部と補償導線部を熱電対専用コネクタで接続したシース熱電対で、着脱が容易に行えます。専用コネクタに使用している端子等の部品は、全て熱電対素線と同材質を使用していますので、温度変化による誤差を最小限に抑えます。

### 【標準仕様】

素線種類 : T、J、E、K  
 許容差 : クラス2  
 導線数 : シングル  
 測温接点 : 非接地 (標準)  
 絶縁抵抗 : ( $\phi$  2.0以下)  
           100Vにて20M $\Omega$ 以上  
           ( $\phi$  2.3以下)  
           500Vにて100M $\Omega$ 以上

### 【特別仕様】

- ◇シース部曲げ加工
- ◇シース材質NCF600 (インコネル)

### 【オプション】

- ◇ルーズフランジ (LFL) P91
- ◇コンプレッションフィッティング (CFG) P92
- ◇熱電対専用コネクタ (TKC) P94
- ◇補償導線 (TCW) P95

### 【型番構成】



項目	コード	仕様
基本型式	TSK	補償導線付シース熱電対 専用コネクタタイプ
① 許容差	2	JISクラス2
② 素線種類	T	タイプST (銅・コンスタンタン)
	J	タイプSJ (鉄・コンスタンタン)
	E	タイプSE (クロメル・コンスタンタン)
	K	タイプSK (クロメル・アルメル)
③ 素線数	S	シングルエレメント
④ シース外径	A	$\phi$ 1.0mm (SUS316)
	B	$\phi$ 1.6mm (SUS316)
	C	$\phi$ 2.3mm (SUS316)
	E	$\phi$ 3.2mm (SUS316)
	F	$\phi$ 4.8mm (SUS316)
	⑤ コネクタ形状	LC
SC		小型 (シース外径 $\phi$ 1.0mm~ $\phi$ 2.3mm)
⑥ 挿入長	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	コネクタ下長さ (mm)
⑦ 補償導線	G	ビニール被覆
	H	ガラス被覆
	Z	上記以外の被覆材
⑧ 補償導線長	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	補償導線長さ (mm)
⑨ 特記事項	S	

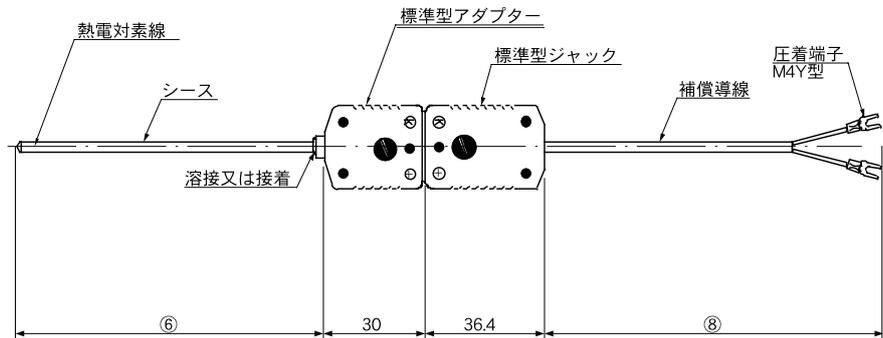
※使用温度は素線種類及びシース外径により異なります。使用温度は55ページをご参照下さい。但し、55ページに記載の使用温度はシース部の使用温度です。コネクタ部の耐熱温度は80℃ (標準) となります。

※シースとコネクタのつなぎ部分はシース外径が $\phi$  1.0の場合は接着剤による接着とし、それ以外のシース外径の場合は溶接とします。

※補償導線の使用温度範囲は下記の通りです。

被覆材	最高使用温度 (°C)	最低使用温度 (°C)
耐熱ビニール	90	-20
ガラス編組	150	0

### 【外形図】



→メタルコネクタタイプは83ページをご覧ください

→専用コネクタ単品は94ページをご覧ください